

第 26 期日本学術会議総合工学委員会 ICO 分科会
第 1 回光科学技術調査企画小委員会
議事要旨(確定版)

日時:令和 7 年 7 月 7 日(月)11:15～11:35

場所:日本学術会議室6-A(1)(2)

出席者:荒川泰彦、岩本敏、小関泰之、久保若菜、竹中充、種村拓夫、西山伸彦、馬場俊彦、
藤田克昌、松井良太、宮本智之;各委員

配布資料

1-1 国際光デーシンポジウムレジメ

議題

(1) 役員の選出について

世話人である荒川泰彦 ICO 分科会委員長による司会のもと、本小委員会の委員長の互選が行われ、馬場俊彦委員が選出された。また、選出された馬場委員長より宮本智之委員、久保若菜委員をそれぞれ副委員長、幹事とする旨の指名があり、委員全員が承認した。

(2) 議事要旨提出に関する委員長一任について

このことについて、委員全員が承認した。

(3) 委員間のメールアドレス共有について

このことについて、委員全員が了承した。

(4) 国際光デーシンポジウムの状況について

同日に開催されたシンポジウムについて、各担当委員より以下の報告があった。

- ・馬場委員長より、ICO 分科会委員による講演者 4 名の決定の経緯、ならびに久保幹事による講演者とのやり取りの末にレジメが完成した旨が説明された。
- ・若手ポスター発表の連絡を担当した宮本副委員長より、国内の研究者 250 名以上に対する推薦依頼に対して 75 件の推薦があり、発表が行われる旨の報告があった。会場の容量制限があるため、妥当な数であるとの説明があった。
- ・業者展示の連絡を担当した種村委員より、34 の業者または団体から展示申し込みがあり、内 33 社は各 1 件ずつ、1 社は 3 件、1 団体はロゴの掲載のみで展示なしとなったため、合計で 35 件の展示となったこと、コロナ禍後のシンポジウム再開以降、増加傾向になっ

ている状況が紹介された。

- ・ポスターボード設営を担当した松井委員より、ポスター発表と展示の合計 110 件に対して 76 枚のボードを利用することになったこと、日刊工業コミュニケーションにより設営と撤収が行われることの説明があった。
- ・参加登録を担当した北村委員が欠席のため、代わって馬場委員長が、事前の登録者数が 238 人名となっていることを報告した。
- ・会計を担当した小関委員より、収入はポスター発表登録料と業者展示料、支出はポスターボード設営費、昼食の弁当と飲み物、交流会運営費であることが説明された。

(5) 今後の活動について

自由に議論が行われ、以下の意見が出された。

- ・このシンポジウムのポスター発表者は各グループを代表する新進気鋭の若手研究者なので、そのキャリアを支援するような仕組みがあった方がよい。
- ・相互交流するために、参加者に名札を用意した方がよい。
- ・企業へのポスター発表推薦依頼を増やした方がよい。現在の推薦者リストは古く、既に定年になった人も多い。新しく企業の要職にある責任者をリストアップした方がよい。
- ・展示にはポスター作成や当日の担当者の割り当てなどが必要だが、それらがなくともロゴ表示だけで支援してくれる光分野の企業もあるはずで、そのような呼びかけを行ってもよい。
- ・本委員会の若返りを検討してもよい。

以上